

茅野市議会 2013年6月(25号)

野沢明夫の議員報告

●事務所：〒391-0301 茅野市北山北大塩道 6891 番地 TEL0266-77-2058

Email: akky4241@po30.lcv.ne.jp FAX0266-77-2052

■会派結成について

茅野市議会55年の歴史上初の会派が結成されました。市民の声の集約、情報収集、政策提案、議員個々の資質向上が目標のこのことです。

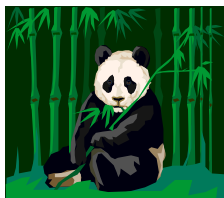
果してそれらは、過去の議員の実績に照らして、「会派」によらなければ達成できないものでしょうか？ 同じ課題を扱う「議員連盟」や「勉強会」といった集まりはすでに用意されており、私の所属する議連では条例提案に向けた活動も具体化しています。もちろん常任委員会において政策立案や検討論議はいくらでも対応が可能です。

私は従来から会派制度には否定的です。議会あり方検討委員会の結論は「会派は不要」でした。にもかかわらず昨年8月、全会一致を旨とする「先例申し合わせ」に、前例のない多数決による採決の結果盛り込まれました。

会派による役職ポストの配分やセクト化の弊害は全国に見られ、一方、目指す政策提案の例を聞くことはほとんどありません。現在の茅野市の会派は単なる「集まり」であり、「議連」や「勉強会」と変わらない位置づけです。

しかしこの先、会派構成人数による議運委員の配分や、無会派の発言を認めないといった運営につながる付帯的な規約が成立しないことを望んでいます。

今日は、将来に語り継がれる「負の一ページ」となりました。(六月十三日)



6月定例会の〈一般質問内容〉は次のようなものでした。

- ① 「市職員の時間外勤務の縮減について」
- ② 「人口減少対策について」

① 「市職員の時間外勤務の縮減について」

要旨：「業務形態の違いやそれぞれの部署における繁忙期（忙しい時期）に合わせ、職員の協力によって改善できるのではないかと考える」 いわゆる、忙しくない部署が忙しい部署を応援できないかという趣旨の質問です。

職員（正規）の時間外勤務の現状は、449人分で1億6112万円、単純に割ると一人一年で358000円、平均残業代は時給2700円で一か月に平均12時間程度になります。各課ではばらつきがあるのが現状です。

下の表は、過去5年間の各課の事務事業の時間外手当の金額と順位表です。

順位	科目	人数	H23度残業金額	H23順位	H22順位	H21順位	H20順位	H19順位
1	保健衛生費	2	1,137,453	2位	1位	1位	7位	1位
2	公民館費	3	1,294,734	5位	2位	7位	2位	2位
3	保育所費	93	54,702,116	1位	5位	10位	5位	7位
4	介護保険関連	5	2,475,972	3位	6位	2位	3位	ベスト10外
5	図書館費	4	908,028	ベスト10外	8位	6位	4位	3位

これは私の個人的計算によるもので順位の大差はありませんが、おおむね恒常的な残業

の多い課を示しています。

保育所費などは、非正規の臨時職員が行う延長保育や早朝保育は含まれません。正規の職員の時間外労働が恒常化している訳です。時間外になったら正規職員は帰って、すべて臨時職員がやれば残業はなくなります。そうはいかないのが現状です。


一方、一番少ない議会事務局で見ると正規職員4名で128955円/年、一人年間32000円の残業代となります。ほとんど残業は無く毎日定時に帰ることができます。

議員がもっと仕事を与えてもいいのではないかと思うわけですが、そのことは今回は置いておきましょう。昔は、個人差があり、その職員が配属された部署の残業が前任者に比して増えるといったケースが見られたなんて話も聞かれます。昼は雑誌を読んでいたりして、夕方から仕事を始めるといった話。市長答弁でも認めておりましたが、職員が「必要以上の精度」を求めて残業するといったことは現にあるようです。それ以外の原因は、季節的な業務が集中したり、効率が悪いなど職員個人の問題もあるようです。

しかし総じて現在、残業の管理はしっかり行われており、繁忙期には必要に応じて課をまたがる兼務命令が行われ、業務平準化のための協力体制がとれているとの答弁でした。さらに変化する行政課題に柔軟に対応するための職員配置をさらに進めてもらいたいところです。

<私はこう考える>

- ① 現行のノー残業デー（水曜日）を火、金に拡大。強制的に残業を抑制する方法。
 - ② 会議が夜間予定される時は、フレックスタイムとし出勤を遅らせる方法
 - ③ 課をまたがる応援体制をもっとこまめに行う方法 など
- 民間的柔軟性をもって対応していただきたいところです。



② 「人口減少対策について」

茅野市総合計画は2008～2017までの10年間、前期はH20からH24の5年間、後期はH25からH29までです。前期策定時に、平成29年10年後の将来人口フレームを、コーホート法（注1）による推計値が59400人であったにもかかわらず63200人と設定しました。そのことは、全国や諏訪地域で人口が減少傾向に入中、大幅な増加を見込む従来型の計画設定の仕方であり、推計の精度が極めて低い結果となってしまいました。後期計画では修正をしてH29に58000人としましたが、これとてH24、25年から推計では下降する予測（現実には下がっている）に対して上向きになる線を引いて目標を設定しています。目標設定値58000人に対し推計は54300人、3700人足りていません。その目標との差を埋めるべく実行されるのが「施策の推進」と書いてあるのです。（注1：ある時期の出生集団の人口変化の観察による将来人口推計方法）

<施策の中身は>

2008前期総合計画ではその差を埋める施策をこう表現しています。

「今後も子育て支援を一層充実させ、さらに豊富な土地を背景に、企業誘致などによる雇用の拡大や住環境整備の施策を講じることによって」とあります。

一方、2013後期総合計画では「茅野市の人口は順調に増加してきましたが、平成20年度から減少に転じました。全国的に人口が減少する中、茅野市においても今後減少傾向が続くと想定されます、しかし人口は市の活力を生み出す基本的な要素であり、人口増対策を図ることはまちづくりにとって重要なことです。市民プランの施策を積極的に推進することにより」とあり。少し具体性に欠けトーンダウンした感じがします。

＜推定値と実際の人口＞（6市町村比較）

平成2年から20年間（H22年までの）推計値と実際の国勢調査の実数との差を見ることから20年前の推定値の精度を検証しましょう。

市町村名	平成2年人口	平成22年推計	平成22年実数	差
茅野市	50064	63389	56391	－ 12.4 %
岡谷市	59840	52036	52841	＋ 1.5 %
下諏訪町	25519	21592	21532	－ 0.3 %
諏訪市	52464	53795	51200	－ 5.1 %
富士見町	14835	14848	15338	＋ 3.2 %
原村	6500	6401	7573	＋ 15.4 %

推計より実数が少なかったものを－（マイナス）表記しています。茅野市は予想が過大で実数が追いついていないトップです。原村を除く、他市町村に比べると精度が低いといえます。過度に政策に大きな期待を寄せた結果、もしくは希望的観測にすぎません。

＜茅野市人口の現状＞

	県平均	茅野市	岡谷市	下諏訪町	諏訪市	富士見町	原村
0～14歳	13.5 %	14.4 ①	13.3 ③	11.9	13.8 ②	12.6	13.2
15～64歳	58.5 %	59.4 ①	56.4	54.3	59.3 ②	55.9	57.1 ③
65歳以上	28 %	26.2 ①	30.3	33.8	27 ②	31.5	29.7 ③
2013年人口	215万人	55817	51376	21000	51451	15015	7466
2040年人口	166万人	46548	38020	13485	38349	12237	6430

しかしながら諏訪圏域の茅野市の人口構成をみると、年少人口（0～14歳）生産人口（15～64歳）高齢人口（65歳以上）のすべての年齢層において茅野市は6市町村トップの構成になっています。2040年予想でも他市町村に比べると人口減少は低く予想されています。しかし甘えてはいられません。

＜指標の転換＞

今後の考え方は人口増加から人口減少を前提にした考え方へシフトすることが肝要です。茅野市では、財政フレーム200億規模を目標にそれに向けて枠組み予算化を始めていることから本気度がうかがえます。

＜私はこう考える＞

- 土地利用に関する施策 工業団地の造成や企業誘致、住宅取得時の優遇措置、助成金（期限付き）固定資産税助成の研究
 - 定住促進（転入・持家奨励金）制度の研究
 - 新婚家庭への家賃助成
 - 空家への入居者に対する補助制度の研究
 - 市有地の低価格提供 ●茅野市田舎暮らし促進
 - 子育て支援策 保育費第2子半額、3子無料化に加えての申請時窓口の無料化●結婚支援など研究してみる価値のある施策は多いと考える。他市との差別化は難しいが茅野市独自のインパクトのある施策がほしい。
- まずは「人口減少問題対策委員会」の設置を考えてはどうか？

委員会他構成 ◎委員長 ○副委員長

- 総務環境：◎小松一平 ○細川治幸 伊藤勝 樋口敏行 堀晃 小平吉保（議長）
- 経済建設：◎宮坂武男 ○山岸正衛 北沢千登勢 篠原啓郎 勅使川原はすみ
- 福祉教育：◎伊藤玲子 ○小池賢保 望月克治 野沢明夫 両角昌英 大久保功身（副）
- 議会運営：◎野沢明夫 ○両角昌英 北沢千登勢 樋口敏之 細川治幸 山岸正衛

＜広報広聴委員会＞

- 議会広報部会（議会だより）◎堀晃 ○樋口敏之 北沢千登勢 宮坂武男 篠原啓郎 小松一平 山岸正衛
- 議会報告部会（意見交換会）◎野沢明夫 ○伊藤勝 伊藤玲子 小池賢保 望月克治 勅使川原はすみ 細川治幸 両角昌英

3月議会後から現在まで

〈議員活動、公職、奉仕活動、行事参加、その他の活動〉
参加行事多数のため行間をつめて表示いたしました。
読みにくい点はご容赦下さい。

4月1日	湖東・笹原両保育園入園式		湖東地区コミュニティ運営協議会総会
2日	ライオンズ4月第一例会	29日	諏訪法人会・古賀茂明氏講演会
3日	北部中入学式、湖東小入学式	30日	6月議会開会
5日	ソフトテニス協会理事会	6月4日	ライオンズクラブ6月例会
	県元気づくり支援金報告請求	7日	議案質疑
6日	体育協会春の公園内清掃作業欠	8日	ライオンズクラブ複合年次大会岐阜長良川
	旭市仮設住宅そば炊き出し奉仕	10日	六ヶ地区ゲートボール大会中大塩
7日	井上陽水コンサート長野ホクト		薬乱防作成委員会準備会
8日	湖東保育園慣らし保育手伝い		出合いの広場の会役員会・相談会
	ライオンズクラブ特別委員会松本	11日	一般質問①日目
9日	～11日議会だより配布	12日	一般質問②日目
11日	LC献血委員会岡谷	13日	一般質問③日目
12日	R299折橋竣工式		予算決算委員会
	ライオンズクラブ理事会		ライオンズクラブナイター最終理事会
13日	中村智江様通夜見舞い	16日	湖東分団ポンプ操法大会
16日	ライオンズクラブ例会入会式講演会	17日	外山財産区横谷観音例祭(欠)
17日	議会全員協議会		ライオンズクラブキャビネット委員長松本
18日	8日会・笠原会計総会		ライオンズクラブクラブ委員長長会議
19日	湖東小学校転退職員歓送迎会	18日	議会福祉教育委員会
20日	「志多ら」太鼓演奏会市民館		ライオンズクラブナイター最終例会
21日	ライオンズクラブ献血活動(イクワ 蓼科)	19日	市観光協会アンケート調査報告会
	伊那ライオンズクラブ50周年記念式	20日	薬乱防協議会ガイド作成委員会
	夜回り先生水谷修氏講演会伊那文化		男女共同参画「うさぎドロップ」
	市体育協会定期総会(評議員)欠	21日	議会運営委員会
22日	湖東地区社協理事会		6月定例会最終日・理事者懇親懇談
24日	蓼科湖彫刻公園オープニング	22日	レオ最終例会
25日	岡谷市議会議会報告会視察カノホール	23日	市ポンプ操法大会
28日	ソフトテニス協会コート開き		薬乱防街頭キャンペーン岡谷アピタ
29日	ライオンズ・0-1-3クラブチャリティゴルフ大会		出合いの広場の会BBQ大会中止
5月3日	～6日東北被災地・私的視察旅行	24日	薬物乱用防止教室原小4年
7日	議員交流ゴルフ	25日	ライオンズクラブ合同委員会
	ライオンズクラブ花見例会	28日	ライオンズクラブ親睦ゴルフ
5月8日	元消防分団長モリモリ会森の家	29日	五味勝志様叙勲を祝う会
10日	臨時議会(議会人事)	30日	リトテニス総合体育大会(欠)
	ライオンズクラブ旭市炊き出しV反省会		笹原区鹿狩り神社例祭
13日	ライオンズクラブ理事会		須栗平区白山神社例祭
14日	ライオンズクラブチャリティゴルフ松本浅間C	7月3日	河西建設千親会ゴルフ大会
15日	議会全員協議会		青少年健全育成大会
17日	田植え・一般質問受付・告示		湖東北山社協視察研修長和町欠
18日	ソフトテニス協会春季大会	7日	鹿山財産区民ゴルフ(欠)
	ワハハ本舗公演観劇・長野ホクト		湖東新井区村祭り(欠)
19日	ライオンズクラブ年次大会松本		
	森林文化の会講演会(欠)		
21日	中村篠原雪子おばさん田植え		
	ライオンズクラブ次期準備理事会		
23日	老人福祉センター起工式8:00		
	福祉教育委員会協議会		
	山口・宮坂ちよえ様ご葬儀		
	湖東コミュニティ運営協議会(欠)		
	茅野市薬物乱用防止協議会理事会		
	出合いの広場の会理事会		
24日	宮川保育園起工式8:30		
	H19年当選議員懇談会「一九会」		
25日	信州岩波講座高村薫講演会松本芸術		
28日	議会運営委員会		
	鹿山財産区・鹿山会(欠)		

●わたしの政務調査費の使い方

収入	市より	120,000円(10000円/月)
支出	●調査研究費	2,015円
		(自治フォーラム・松本浅間文化センター)
	●資料購入費	17,358円
		(書籍代、「住民と自治」他購読料)
	●広報公聴費	161,557円(議会報告印刷及び郵送代)
合計		180,930円(不足は自己負担)